

銅合金の鑄造・鍛造品メーカーの大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)は7月30日、埼玉県三芳町の三芳工場食堂ホールで「第7回みよし森の音楽会」を開催した。従業員の家族や取引先などから約250人が詰めかけ、追加の席を用意する盛況ぶり。クラシックやジャズに加え、詩吟やオペラなど幅広いジャンルの音楽が参加者を楽しませた。開催はグループの三芳合金工業と共同。

大和合金、三芳で「森の音楽会」



音楽会には250人が参加

クラシック音楽では東京交響楽団に所属する奏者らが「アロイ・クアルテット」として弦楽四重奏を結成して演奏。バイオリンやチェロでヴィヴァルディーやメンデルスゾーンの名曲を披露したほか

か、曲に込められた意味を解説した。合わせて結婚を決めた社員を結婚行進曲で祝福する一幕も。

ジャズではプロ奏者のフクムラサトシさんがオリジナルの曲目を中心に演奏して会場を盛り上げた。また3人のオペラ歌手が参加し、帰れソレントへなどの名曲を歌った。

萩野社長は「当社の合金は様々な成分を混ぜて強度や柔軟性を出している。同じように今回の音楽会でも様々なジャンルの方に演奏をお願いしているので皆さんに楽しんでもらえれば」と話している。終了後にはバーベキュー大会が行われた。